実践①

全学年実施　特別活動「自分の歯を知ろう～『歯のカルテ』を作ろう」【学級活動（２）】

単元の目標

〇歯科検診の結果をもとに、一人一人が自分の歯のカルテを作成することを通して、興味・関心を持ち、自分の歯の状態に気付き、知る。

〇自分の歯の状態の気付きや課題から、自分のめあてを決めることができる。

課題を見つける力

①　歯科検診の実施

待ち時間を有効活用

歯科検診に関するプレゼンを流しておき、児童の興味・関心を引き付ける。

課題を解決する力

②　意思決定に至るまでの学習活動の工夫

疑問や気付きの出し合い

学年の実態や発達段階に応じた導入の工夫。

６年生の場合

（児童の日記の交流から…）

・歯医者さんは、数字を言いながら見ていました。いいのか悪いのか、分かりません。

・数字や英語など呪文のような言葉がたくさん聞こえました。

・家に帰って、お母さんに疑問に思ったことを聞きました。。

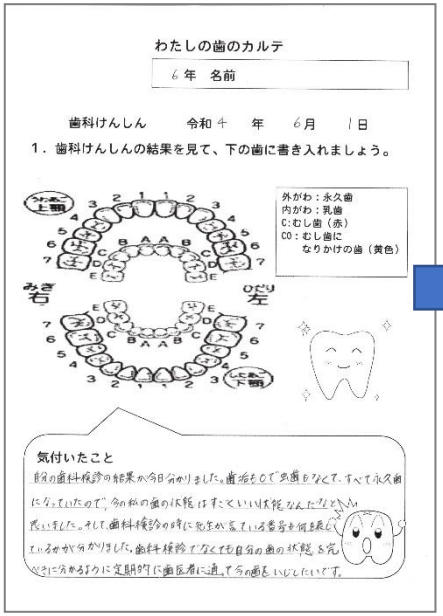
歯のカルテの作成

C：歯医者さんがCOって言っていたな。これは、むし歯になりかけの歯なんだ。

C：全部永久歯に変わってる！大切にしていかないといけないな。

C：歯医者さんが言っていた意味が分かってきた。

気付いたこと→自分のめあて



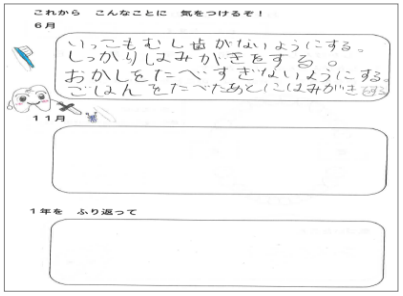
低・中・高学年ごとに、発達段階に沿った形式に変えた。

次の学びにつなげる力

③　各学年の学びへの活用

４年総合「歯みがき大会」

④　記録をつなげる



ポートフォリオ形式で残し、定期的にめあてを振り返る。

【成果〇と課題●】

〇自分自身の歯の状態を詳しく知り、じっくり考えることができた。各学年の６月の実践に向けて、自分の歯について興味・関心を高める取組となった。

●６月のこの発見や立てためあてを年間を通して、どのように活用し、継続的な活動にしていくのか、実態に応じた見通しは必要である。